

「関東食育連携プラットフォーム～この指とまれ！～」エントリーシート(関東農政局)

■ 活動紹介

団体名等	明治大学農学部本所ゼミ		
事業内容	地域資源を活用した大学生の地域連携活動		
所在地	〒214-8571 川崎市多摩区東三田1-1-1	ホームページ等	<a href="http://blog.livedoor.jp/honjiyo_zemi/">http://blog.livedoor.jp/honjiyo_zemi/</a>
電話番号	090-2124-3299	F A X	044-934-7119
食育活動 (連携事例を含む)	<p>○弁当づくりによる地域連携活動【商店街×大学生×小学生】 メニューの構想・食材購入から調理まで全てを体験⇒食の大切さを学ぶ家庭科教育支援 大学生と小学生の協働作業⇒地域連携で協働</p> <p>食の外部化が進む社会に育つ子どもたちが、いのちの源である「食」に関心を持ち、自分の体や健康のことを考え、それを作るために携わっている全ての人のことに思いを馳せ、「本当の美味しいとは何か」「いただきますの意味は何か」を考えられるような機会にしたいと考えた</p>		
食育活動写真			
			
活動の効果	<p>大学生の地域連携活動による商店街と小学校と連携した本取組は、大学生のコメントから実施目的を実現できたと考える。6年生の保護者の会食会の出席率は100%近くであった。通常の6年生の行事では考えられない数字である 子どもたちは事前に計画した料理を戸惑いながらも一生懸命作った。普段は騒いでいる子どもたちも真剣な表情である。作り終えた教室は子どもたちの満足した笑顔でいっぱいになっていた。後の感想文では「家族にお弁当をつくってあげたい」という感想が多く見られ、このプログラムを通じて子どもたちが多くを学び、成長する姿を実感できて大変感動した</p>		
継続への課題	<p>大学生が参加する地域連携活動は、学生が卒業して入れ替わるため、継続性が課題です。また、連携する地域によっては、移動コストも課題です。その課題について継続して取り組める工夫をして乗り越えています</p>		

■ 連携を希望する取組について

連携を希望する業種等	大学生と協働して食と農を中心とした地域資源を活用して、地域の課題解決や共有価値の創造に取り組める取組をしたいという面白い大人の皆様
取組内容	大学生と協働して食と農を中心とした地域資源を活用して、地域の課題解決や共有価値の創造に取り組める取組